**県総合体育大会での水着、ウェアのロゴ・マークの規定について**

県総合体育大会は中国大会、全国大会につながる大会として、全国大会の規則にもとづいておこなわれます。

【全ての競技に共通】ついていてもよいもの

（１）自分の氏名、エントリーした所属（チーム・学校・クラブ等）の名称やマーク。

（２）国旗・国または地域の名称（自国でなくてもよい）、都道府県や市町村の名称やマーク。

（３）公式競技会および公認競技会のシンボルマークや本連盟が認めたもの。

（４）水着・ウェア等のメーカーロゴ・マーク。

（５）事前に届出承認がされている、スポンサーロゴ。

２ それぞれの大きさと数

それぞれの大きさ（サイズ）は着用前の面積とします。採寸方法は正方形または長方形とみなし、縦×横で

面積を求めます。それぞれの面積は最大を示し、その範囲内であれば大きさに規定はありません。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| マークの種類／用途 | 水着についていてよい大きさと数 | ウェアについていてよい大きさと数 | その他のものについていてよい大きさと数 |
| 自分の氏名、エントリーした所属の名称・マーク、国旗・国または地域等の名称やマーク、公式・公認競技会のマークや本連盟が認めたもの | 競泳は30㎠以内で１カ所。競泳以外の競技は大きさ数に制限はなし。 | 大きさ数に制限はなし。 | 大きさ数に制限はなし。 |
| メーカーのロゴ・マーク | メーカーロゴまたはマークは30㎠以内で１カ所。（注１） | メーカーロゴは40㎠以内で１カ所。マークは20㎠以内であれば、いくつ、ついていてもよい。 | メーカーロゴは20㎠以内で１カ所。マークは20㎠以内であれば、いくつ、ついていてもよい。 |
| 事前承認されたスポンサーロゴ | 30㎠以内で１カ所。 | 40㎠以内で１カ所。 | 20㎠以内で１カ所。 |

注１ ワンピース水着の場合は、ウエストより上に１つウエストより下に１つ許され、ツーピース水着の場合

は、上部に１つ下部に１つが許される。ただし、これらの商標名は相互に隣接して置くことはできない。

【競泳の部】

競技会の競泳競技において、着用できる水着は下記の通り。

１ ＦＩＮＡの公認した水着を着用すること。

※規定に外れる水着を着用して泳いだ場合の記録は、各公式・公認競技に

おいて参考記録扱いとなり、決勝への出場および全国大会や国際大会の標

準突破記録として認められず、連盟のランキングにも反映されません。

２ 着用できる水着は１枚のみとし、水着の重ね着は禁止する。

３ 水着へのテーピングおよび２次加工は禁止する。

※水着の重ね着、水着へのテーピングおよび２次加工の規定に違反した場合は失格となります

【飛込みの部】

●平成23年5月24日　日本水泳連盟飛込委員長より

(1)飛込競技ではFINAの認定マークは必要ありません。身体を覆う範囲の制限もありません。

(2)選手・コーチは、競技会に参加する際のエントリーチーム名であれば、水着、ジャージ、バッグ等へのチーム

名表示サイズに制限はありません。

(3)水着等のメーカー名は一つだけ付いても良いのですが、国内大会では23年度は20㎠以下、24年度からは30

㎠以下の制限があります。

(4)ブランド名の表示は一つに限定されており、2種類になる”ダブルチョップ”も禁止されています。

対応方法例

　・アリーナ製タフスーツ→｢タフスーツ｣部分をマジックで消す。

　・ミズノ製エクサスーツ→マークの中にも「Mizuno」マークが小さく表示されているのでそれを消す。

　・アシックス製パワースーツ→商標登録をしていないのでそのままでよい。

　・ミッキーマウス等のプリント→登録商標なのでいけない。

* 水着の規定違反の場合は、水着を着替えてもらうか、マジック等で消すかをしてもらいます。
* 招集の際に確認をします。
* 規定違反のままでの競技会参加は、記録が残らないこととなりますので注意してください。